



新規現場のご紹介

某株式会社 三宮ビル



平成28年7月よりスタート。
 六甲アイランドに所在していた同社様の移転先（三宮北館ビル）での清掃管理を移転後も引き続き契約させて頂きました。
 同ビルでの清掃管理については、他社様との競合となりましたが、六甲アイランド時代の当社の品質やスタッフの皆様の対応による実績を非常に高く評価頂き、移転先においてもピアサービスを指名頂くことになりました。

請負内容としては、清掃業務、オフィス内ハンディーマン業務（庶務等依頼対応業務）ラボコンシェルジェ業務（ラボエリアにおける依頼対応業務等）と多岐に渡りご依頼頂いております。お客様からの信頼に応える為にも、スタッフ一同、誠意と努力で頑張っていきたいと思っております。

- メンバー紹介
- 前段左側：清掃業務 下元スタッフ
 - 右側：清掃責任者 富士井スタッフ
 - 後段左側：ハンディーマン業務 勝スタッフ
 - 中央：ラボコンシェルジェ業務 植田スタッフ
 - 左側：清掃業務 内畑スタッフ

改善提案委員会より

改善提案進捗状況

皆様日頃は日々各持ち場で頑張っており、感謝申し上げます。平成28年度改善提案実績（平成28年5月～現在）は、47件（目標対比38%）と少し低飛行気味です。（苦笑）
 「改善」と聞くと少し難しく考えてしまう、あまり字が綺麗でないのでは記入するのは・・・等の問題があるのかなあと提出件数の伸び悩みについて考えています。

この改善提案の導入した目的は、現場で働く皆様からの様々な生の声（本音）、意見要望が、わが社が目指す「四方よし！！」の行動に繋がるのではという思いからです。
 なので、余り難しく考えることなく、まずは今仕事で困っていることを、記入、或いはメッセージ程度でも構いませんので、各担当者或いは本社に提出して頂きたいと思っております。
 あるスタッフは、タイムシートの裏側に「この場所の換気扇が汚れている」と記入して頂いており、それも改善提案としてカウントさせて頂きました。
 是非、ご提出に各位様ご協力頂ければ幸いです。

最後に、少し改善のポイントをお話します。
 『×（ばつ・・・駄目な事）を見方（視点）を替えると+（プラス・・・良い事）になる』という考えで、一度、皆様が思いつく問題点（×）を違う角度から見て（違うやり方は無いかな？）みると、それが+（プラス）になる事が、一つの改善です。
 見慣れた景色ではなく、一度新鮮な気持ちで、日々の業務を見つめ直してみると、意外に足元には、改善（プラス）が落ちているかもしれません。

安全委員会より

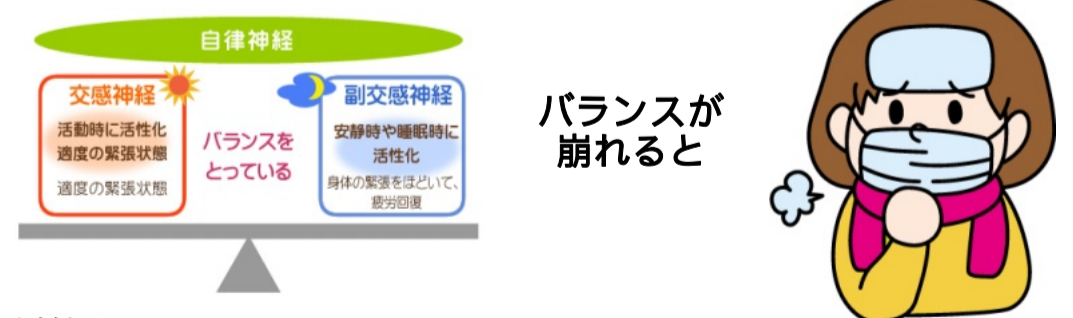
・安全衛生パトロール



安全委員会では毎月2件、安全衛生パトロールというものを実施しています。定期作業や日常作業の際に、チェックリストに基づいた項目に対して4段階の評価で実施できているかをチェックし、その評価に対して指導・改善を行い、作業を安全に実施するための取り組みをしております。
 皆様も作業中に事故・怪我がないようにしていただく為、十分安全に配慮して作業を行い、危険があれば放置しないよう、よろしくお願い致します。

・寒暖差にはご注意を

最近では日中は20度以上、朝夕は10度以下と、1日で10度以上の開きがあります。人間の体の体温調節機能は、自律神経（図）がつかさどっています。しかしこの自律神経は、5度以上の急激な温度変化に対応することが苦手です。そのため寒暖差の激しい秋は、自律神経のバランスが崩れ、疲れやすくなり、風邪や胃腸不良などの体調不良になりやすいです。



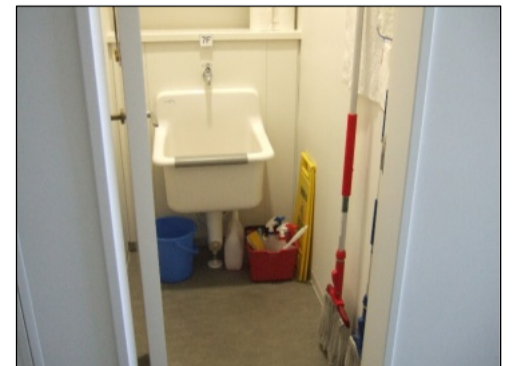
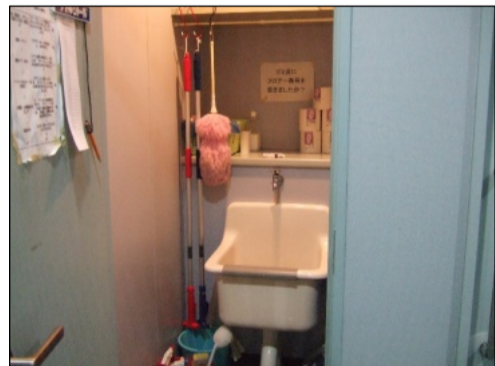
- 対策としては
- ・ウォーキングなどの一定のリズムを繰り返す運動
 - ・気候に合わせた服装を着ること
 - ・食事などで胃腸を温め、栄養を摂ること
 - ・お風呂にゆっくりつかることで体全体を温めること

以上。
 対策をしっかり取ったうえで旬の食材をいただき食欲の秋、身体を動かすスポーツの秋、書籍でのんびり過ごす読書の秋、紅葉を眺める行楽の秋、絵画鑑賞や観劇鑑賞といった芸術の秋...皆様、素敵な秋をお過ごしください。

品質委員会より

S Kの整理整頓

日常清掃現場で清掃資材の保管やその日使い終わった清掃道具を洗ったりしているが、毎日使っている場所にも関わらずS K内が乱雑に使用されている現場を見ることがあります。そんな日常現場に限って品質はよくありません。限られた狭いスペースですが少しの工夫で整理整頓したらS Kを有効的、且つ綺麗に使用する事が出来ます。S Kはお客様の持ち物で清掃範囲の一つと意識して整理整頓をお願いします。整理に困っている場合は管理担当者へ相談して下さい。



総務部より

ストレスチェックの実施予定

「労働安全衛生法」という法律が改正されて、労働者が50人以上いる事業所では、平成27年12月から、毎年1回この検査を全ての労働者（一部対象外あり）に対して、実施することが義務付けられました。
 「ストレスチェック」とは、ストレスに関する質問票（選択回答）に労働者が記入し、それを集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査です。

当社も対象事業所であり、実施時期が遅くなりましたが、11月下旬～12月上旬頃に実施の予定です。
 詳しい内容については、改めてご案内をお送りしますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

---お願い（11月出勤簿の送付について）---
 ・11月も11/23(祝)があり、給与計算事務の日数が少ない為、15日締め切り後、すぐに発送のご協力をお願いします。

幸せになる 人生の方程式

2016年10月26日
ピアサービス 株式会社
代表取締役 岸本 吉充

皆さん こんにちは！お元気ですか？

皆さんが元気で持ち場、持ち場で一生懸命、頑張ってお仕事に取り組んで頂き、心より感謝申し上げます。

皆さんの誠意ある努力のお陰で、今年は新規物件も順調に獲得し、「四方よし」の精神で邁進しています。ありがとうございます。

今回は、先日の本社朝礼会議で勉強した

「人生・仕事の結果 = 考え方（良い心） × 熱意 × 能力（才能）」
- 100点～100点 0点～100点 0点～100点

という方程式を皆様にお話させて頂きたいと思います。

この方程式は京セラ名誉会長の稲盛和夫氏が唱える「京セラフィロソフィー」の根幹となっています。この方程式では、人生や仕事の結果は「考え方」と「熱意」と「能力」の3つの要素の掛け算で決まり、「熱意」と「能力」はそれぞれ0点～100点まであり、「考え方」については、東西南北のような全方向を言うのではなく、水平線の方向、つまりゼロを基点にしてプラス、マイナスの方向それぞれに100点までの数字が入ります。

例えば、非常に「能力」の優れた人（ここで言う能力とは例えば持って生まれた才能等）であっても、やる気や情熱もなく、努力を怠ればどうなりますか？その反対は？

この方程式は、掛け算（積）ですから、「熱意」が0点であれば、いくら能力があっても、結果0点にしかたないのです。

そして、ここで言う「考え方」は、「人生を歩いていくための方向」、すなわち「心」であり「思想」「理念」「信念」と置き換える事が出来ると言えます。つまり方程式で言うプラスの考え方（方向）とは、「良い心」「人間として正しい考え」であり、逆にマイナスの考え方（方向）とは「悪い心」「人間として良くない考え」になります。

考え方はプラスからマイナスまでありますので、考え方次第では、いくら「熱意」や「能力」が高くても「考え方」が誤れば、結果は180度変わってくるのです。

優れた優秀な頭脳（能力）を持ち、燃えるような「情熱（熱意）」を持っていても、その主張や主義を通す為に、それを暴力（テロ）のようなマイナスな方法（考え方）で行えば、最終的には日陰者になってしまうのです。

私利私欲のようなマイナスの考え方では一過的には成功したかに見えても長くは続かないのです。

そう思うと、この「考え方」こそが、自分の人生を決める最も大切なことだと再認識させられます。

どんな考え方をするか、どんな思想、哲学を持つかは個人の自由であり、それは個人の権利であると言うのが、我々現代人の基本的な考え方です。

確かに、どんな「考え方」を持つかは個人の自由ではありますが、その自由の中で自分がどのような「考え方」を選択するかによって、自らの人生、運命が決まってしまう（変わってしまう）ということも、同時に我々は学び、教えていかなければならないのだと思いました。

この事を記された中国の書物「陰陽（いんしつ）禄（ろく）【注釈 1】」の一文をご紹介します。

「人生はあらかじめ決まっているのではない。確かに人間には運命というものがあるかもしれないが、それは宿命ではなく、変えようと思えば変えられるのだ」

自分の心の在りよう（考え方）によって、自分の人生はどのようなものにもなると信じさせてくれる一文だと思います。

人間として良い心（考え方）で正しい行いを選択することで幸せな人生を勝ち取ることが出来るはずですよ。

「JAL世紀の再生」を果たした稲盛氏も、この「考え方」と「管理会計（アメーバ経営【注釈 2】）」が血肉化されたことで、V字回復を成し遂げたと言い切られておりました。

ピアサービス株式会社に關わる、すべての人が人間として正しい考え方、良い心をもって幸福な人生になることがピアサービスの願う「四方よし」の原点だと思います。

注釈 1 「陰陽（いんしつ）禄（ろく）」

中国の明の時代に袁（えん）了（りょう）凡（ぼん）によって著述され、日本においても広く流布した庶民道徳の書物。袁了凡の体験を基に人間の運命論を説く。

注釈 2 「アメーバ経営」

京セラ名誉会長の稲盛和夫氏（日本航空 名誉会長、KDDI 最高顧問）が企業経営の実体験から編み出した経営手法で「経営は一部の経営トップのみが行うのではなく、全社員が関わって行おうべきだ」という考え方の下、採算部門の組織を5～10人という小さな単位（アメーバ）に細分化し、それぞれがまるで1つの会社であるかのように独立採算で運営し、社員全員が自部門の利益を意識しながら創意工夫を重ね経営に参画することが特徴で、全員参加の経営を実現する経営管理の仕組み。